

看護協会だより

看護ぎふ

Vol.109

KANGO GIFU 2024.10.31

病院
紹介

聖十字病院



CONTENTS

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| ◆ 理事会報告 …………… 2 | ◆ ナースセンターからのお知らせ …………… 9 |
| ◆ Instagramはじめました …………… 2 | ◆ 日本看護協会会員手帳2025 …………… 10 |
| ◆ 各支部活動報告 …………… 3~5 | ◆ とっておきの癒し …………… 11 |
| ◆ ふれあい看護体験 …………… 6・7 | ◆ 表紙施設紹介 …………… 12 |
| ◆ 特定行為研修修了者の活動報告 …………… 8 | |



■発行/令和6年10月31日 公益社団法人 岐阜県看護協会
岐阜市藪田南5丁目14番53号 岐阜県民ふれあい会館第1棟5階
TEL.058-277-1008 FAX.058-275-5300
URL: <https://gifu-kango.or.jp> E-mail: gifukango@gifu-kango.or.jp
■編集責任者/青木 京子 ■印刷/株式会社イナハ印刷社

理事会報告

令和6年度 第4回理事会 令和6年9月17日(火)

□ 決議事項

- 第1号議案 令和6年度会員入会の承認について（承認事項）
承認会員数 632名（承認後会員数 12,252名）
- 第2号議案 公益社団法人岐阜県看護協会 岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山運営規程の一部改正について
- 第3号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山（生活介護）運営規程の一部改正について
- 第4号議案 児童福祉法に基づく岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山（指定児童発達支援・放課後等デイサービス）運営規程の一部改正について
- 第5号議案 令和6年度補正予算について
- 第6号議案 令和6年度補正予算について

○すべての議案は承認、可決されました

□ 協議事項

- 1 岐阜県看護協会のあり方～2040年を展望して～（案）について


岐阜看護協会 広報
 @gifukango_koho

かんごちゃんが
躍動する!





かんごちゃん PR活動の日々



かんごちゃん PR活動の日々



かんごちゃん PR活動の日々

岐阜北支部

岐阜市の長良川以北、山県市、本巣市、北方町

支部長 山中 富喜子

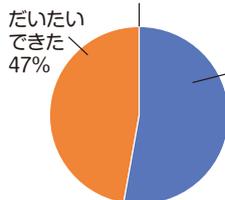
山田病院

9月7日にナーシングケア寺田において岐阜北支部研修会を開催しました。参加者59名（会員56名、非会員3名）。講師は、山田病院の摂食・嚥下障害看護認定看護師の伊丹和美さん、歯科衛生士の平方穂子さん。テーマは“臨床に役立つ食事介助と口腔ケア”～高齢者・認知症患者の口腔ケア技術を習得し看護に活かそう～です。多忙な業務の中で日々看護ケアをする中、どのようにやって良いのか悩む場面が多々あると思います。今回は『高齢者・認知症患者の食事介助と口腔ケア』に注目し、明日から使えるケアのヒントを得ていただければと企画しました。講義は、食べる演習や口腔ケア場面の動画を見るなど参加型で進められました。

研修後のアンケートでは、「食事介助では体験もできてとてもわかりやすかった」「口腔ケアも具体的でわかりやすかった」「解剖生理～事例を交えた内容で理解が深まった」「食事介助と口腔ケアについて、セットで講義を聞くことでより理解が深まった」など多数の意見がありました。参加者の意見から研修目的は達成できたと考えています。

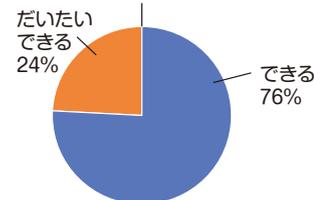
参加目的は達成できましたか

あまりできなかった 0%
できなかった 0%



今後のケアに活かせますか

あまりできない 0%
できない 0%



岐阜南支部

岐阜市の長良川以南、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町

支部長 寺島 裕貴

朝日大学病院

岐阜南支部では、6月19日に支部集会開催、8月21日に第1回施設代表者会議を開催いたしました。まだ新型コロナウイルス感染が続いている中でしたが、「顔の見える関係を作り、岐阜南支部施設間の連携を図る」を目標に掲げておりますことと開催を望む声もあり、今年も集合型で行いました。施設代表者会議では23施設27名と岡田専務理事に参加していただき、「診療報酬改定から考える医療・看護のあり方」について現状と今後の課題を検討いたしました。今回はあえて幅広いテーマにしましたので、不安な面もありましたが、活発な情報交換や意見交換を行うことができました。



また、第1回支部研修は心の健康を考え「ストレスマネジメント」、第2回は地域連携の強化を図り専門性を発揮できるように「事例検討会」、リフレッシュ研修では、皆様の興味関心の高いものと画策し、「パーソナルカラー」をテーマといたしました。

今後も支部の皆様が元気で笑顔になれる活動を企画し、看護職の連携を強化し、地域の看護の質向上につなげていきたいと思っております。ご協力お願いいたします。



西濃支部

大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、
輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町

支部長 桑原 美代子
博愛会病院

西濃支部では7月13日に支部集会を行い、63名の参加者がありました。その後、リフレッシュ研修として「眠る門には福きたる」のテーマで東洋羽毛東海販売株式会社・睡眠健康指導士の渡部郁子先生に講演を行っていただき、参加者は67名（会員63名、非会員4名）でした。その中で睡眠不足とヒューマンエラーの関係を表すデータがあり、睡眠不足は注意力や反応の遅れがあることを示しており、改めて睡眠の大切さを再認識しました。また、日頃から交代勤務などで不規則な睡眠に対して良質な睡眠に変えるポイントを教えていただき、今後の生活に活かしていきたいとの声がありました。



8月24日に第1回施設代表者会議を13施設15名の参加者と若原常務理事にご参加いただき開催しました。参加施設では訪問看護ステーションやクリニックからの参加もあり、今の課題について活発な



意見交換ができました。

今後も研修会や施設代表者会議を計画しています。それらの活動を通して看護職の連携が強化できるようにして行きたいと思います。今後よろしくお願いいたします。

中濃支部

関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、
川辺町、七宗町、八百津町、白川町、御嵩町、東白川村

支部長 大野 貴子
中濃厚生病院

中濃支部では、7月6日に支部集会とリフレッシュ研修会を開催しました。今回のリフレッシュ研修会では、社会医療法人厚生会健康増進施設CLUB-Mでご活躍の早川和泉先生をお招きし、「看護職のリフレッシュストレッチ」



リフレッシュ研修
「看護職のリフレッシュストレッチ」の
実施風景



令和6年度 支部集会

を行いました。ひとつひとつはゆっくりとした動作で、自分の身体のケアを行うことができました。

参加者からは「気分転換になった」「自宅でも続けたい」といった声を聞くことができ、良い機会となりました。

また、8月2日には第1回の施設代表者会議を開催しました。施設や地域で活躍されている特定行為研修修了看護師の活動報告を受け、各施設における特定行為研修修了看護師の育成・活用について情報を共有しました。「郡上」「関・美濃」「可茂」に分かれて行った地区会議においては主に看護職の人材確保についてディスカッションを行いました。この地域における看護職の人材確保について、今後も中濃支部の皆様と連携して取り組みたいと思います。

東濃支部

多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市

支部長 坂口 明子
中津川市民病院

東濃支部では、4月26日、8月2日に施設代表者会議を行いました。令和5年度から代表者会議の際に、東濃5市の自治体保健師からの活動報告を行う機会を設け、今回、最終として中津川市の報告をしていただきました。中津川市役所内に保健師は28人配置され、健康医療課・高齢支援課・子ども家庭課などで活発に活動をされていました。母子保健事業の実際や報告後、連携する医療機関、施設との意見交換を行い、連携上の課題等がみえ、今後の活動における足掛かりになるのではと感じました。

また7月6日には、支部集会、支部研修会を開催しました。支部研修会はルートNフィットネスクリエイション代表の長尾富美子氏をお迎えして、ゴムバンドを使用してできるヨガを体験しました。ヨガを体験した会員の皆様からは、「心地よい疲労感とストレッチでリフレッシュできた」「他施設の方との交流ができてよかった」などの声が聞かれました。張り切りすぎて筋肉痛になった方もありましたが、ストレス解消するのにとても良い機会になったと思います。今後も会員の皆様が笑顔になる活動を企画したいと思います。



飛騨支部

高山市、飛騨市、下呂市、白川村

支部長 小林 加代子
久美愛厚生病院



飛騨支部では、7月13日に支部集会と研修会を開催しました。広大な飛騨地域では、コロナを経てWeb開催を取り入れることが多くなっており、今回もより多くの皆様に参加していただけるよう会場とWebでのハイブリット開催を実施しました。

研修会には、地域で活躍されている「これからの在宅医療・看護・介護を考える会」代表の野崎加世子先生をお招きし、「看護を創造しよう 地域の看護について考えよう!」というテーマでご講演いただきました。ご自身が飛騨地域で訪問看護師となられた時の思い、事業を拡大していく時の思いから、「私たちが看護をあきらめることがあってはならない」という信念が伝わってきました。それぞれの立場で、できること、必要なことは何かを考え、できることから実行すること。すぐにはできないことの方が多いが、時を待ち熟考を重ねる「熱いハートと冷静な頭脳」のバランスが大切であると話されました。

会場やWebからも質問や感想が寄せられ、活発な意見交換がなされました。チームで、そして地域で、看護の質を高められるよう、会員の皆様からのご意見を大切に、今後も支部にとって必要な活動を実践していきたいと思ひます。



ふれあい看護体験



岐阜県立下呂温泉病院

「看護の大変さと喜び」

益田清風高等学校 山本 遼

私はこの度の看護体験で、主に患者さんの足浴のお手伝いをさせていただきました。体を自由に動かせない患者さんの足を持ち上げるときの力や、洗うときの力の加減がわからず苦労しました。また、患者さんとしっかりコミュニケーションがとれているのが不安になったこともあります。それでも、足浴が終わった後の患者さんの笑顔にとっても励まされ、やりがいを感じました。

私は、今回の経験をとおして、看護師になりたい気持ちますます強くなりました。

お忙しい中、このような貴重な体験をさせてくださり本当にありがとうございました。



可児とうのう病院

「ふれあい看護体験に参加して」

可児高等学校 横江 彩希

私は、ふれあい看護体験に参加して、多くの発見がありました。

まずは、看護師さんが患者さんに優しく接し、良好な関係を築いていたことです。コミュニケーション能力や、接し方はとても重要なものだ実感しました。また、体験として、防護服を着た状態で看護をしている看護師さんに尊敬の気持ちでいっぱいです。その他に、足浴の体験をしました。その時患者さんから「ありがとう」と言っていたら、とても嬉しくやりがいを感じました。

これらの経験から、改めて看護師という仕事に魅力を感じ、ふれあい看護体験に参加してとても良かったです。



岐阜県総合医療センター

「看護体験を通して」

各務原西高等学校 櫻井 麻衣

初めて経験することが多く最初はとても不安でしたが、看護師の方が近くで丁寧に教えてくださり、とても楽しく充実した時間になりました。

病棟の見学では、間近で患者さんの処置をしている姿や、看護師さん同士で患者さんについて話している姿などをみて、看護師の仕事は人との関わりがとても大切だと感じました。



看護体験をする前は、「大変そう」など抽象的なイメージを持っていましたが、実際の現場や看護師の方々の話を伺ったりするなかで、はっきりと具体的なイメージを持つことができました。

この経験を活かして、将来の夢に向かって努力していきたいです。



岐阜清流病院

「ふれあい看護体験に参加して」

加納高等学校 遠山 姫菜

私の家は三世代家族です。学業が忙しく、祖母との会話は年々減っていますが、祖母は80歳を越え、体を動かすのが辛く、耳も遠いため、話す速度もゆっくりになりました。

病棟体験で、高齢の患者さんが私達を見ると笑顔になり、手を振ってくださりすごく嬉しかったです。

高齢者体験では、体がとても重く歩くのも大変で、祖母もこんなに不自由なのだと分かり、介護の大変さを学びました。看護師と理学療法士の患者さんとのコミュニケーションがとても印象的で、私も祖母に寄り添って話をしたい。今回の経験を糧に、看護師になりたいと思います。



松波総合病院

「コミュニケーションの大切さ」

岐阜高等学校 清水 来葉

私は今、高校3年生です。高校1年生の頃から申し込み続けて、やっと体験に参加することができました。

祖母が搬送されたり、母が入院したりと、病院の方々にたくさんお世話になりました。お見舞いに行った時、闘病で辛いなか看護師さん達と楽しそうに話す姿を見て、安心すると同時に私も患者さんを支えられる看護師になりたいと思いました。

今回の体験を通して、患者さんとコミュニケーションをとることの大切さを改めて感じ、何気ない会話の繋がりが信頼関係を築く架け橋となっているのだと思いました。闘病している患者さんの体調に寄り添うだけでなく、メンタル面も気にして気持ちに寄り添うことで、一緒に乗り越えていけるのだろうと思いました。



特定行為研修修了者の活動報告

①受講のきっかけ、受講しての感想

当院は、令和8年に土岐市立総合病院と統合し地域の中核病院として、東濃中部の急性期から慢性期、在宅まで幅広い医療の提供が求められています。その中で急性期医療とケアに携わりたいと考えるようになりました。今までの経験値を基盤に、改めて基礎知識を学び、アセスメント能力や看護実践能力の向上が必要であると考え受講を志願しました。受講後は、臨床推論など医師の思考や視点を学んだことで視野が広がり、アセスメント能力や判断力の向上に繋がったと感じています。



東濃厚生病院
伊藤 有由美

②現在の活動内容

『特定看護師会』を立ち上げ、医局会や師長会でのプレゼンテーション、特定看護師ニュースを定期的に発行するなど周知活動から開始しました。現在は、11名の特定看護師で、部署を越えて患者さんへタイムリーに介入できるよう努めています。院内の各種サポートチームにも参加し、特定看護師としての意見を伝えていきます。また、部署勉強会や集合研修を企画し、看護の質向上を目指して、学んだことを伝えるための活動をしています。



③今後、どのように活動したいか

院内の周知活動で活動実績件数は増加し、勉強会実施などで教育活動も定着してきました。今後は現活動の継続と、地域の中核病院として、院外での活動にも尽力していきたいと考えています。個人的には、急性期のタイムリーな介入が予後に関わってくると考えているため、急性期分野で学んだことを活かし、実践経験を積みながら知識を更に深めていきたいです。

- 【修了区分】
- ・呼吸器関連(人工呼吸療法に係るもの)
 - ・動脈血液ガス分析関連
 - ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

特定看護師ニュース

Vol. 11
R6. 3月
特定看護師会

1、2月 活動実績

区分	1月	2月
呼吸器関連	0件	2件
動脈血液ガス分析関連	★57件	★42件
栄養及び水分管理に関する薬剤投与関連	3件	6件
感染に係る薬剤投与関連	0件	0件
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	5件	6件

特定PHS【914】

依頼件数増えています！ありがとうございます！
部署の業務もあるため、すぐに対応できないこともありますが、今後よろしくをお願いします！

3期生（渡邊）、4期生（小栗・成瀬）が
Aライン・呼吸器関連・栄養水分関連の症例をとりはじめました！
症例取得の段階は、まだ実習生です。患者さんもしくはご家族に特定行為に対する承諾を得る必要があります。主治医もしくは所属長から説明してもらい、承諾書を頂いてから指導医のもと実施となります。各部署ご協力をお願いしますm(_)_m

★トピックス研修 たくさんの参加ありがとうございました★

R6年度 特定看護師トピックス研修

『臨床推論』

～病態予測をしよう！～

目的：臨床推論を学び、日々の看護実践やアセスメントに活かすことができる！

日時：R6.1.31（水）
17:30～18:30
場所：講義室

『臨床推論』 アンケート結果（回答率：100%） 一部抜粋

研修参加を希望していた
参加人数

研修内容を理解できた
参加人数

LQTSFAを活用して、考察するための情報の取り方が理解できた
パターン認識で動いていた事を、根拠を持った判断で身証できないことができると良いと思う
すく、実践に役立つ内容でした
普段行っていることが、根拠立てて考えることの必要性が改めて理解した
とても難しかったですが、とても勉強になりました。
ワークの時間も受講生にに合わせて調整してくれた
講義とグループワークのやり取り、1時間楽しかったです
長すぎないちょうどいい時間と思いました。
ワークがもう少し時間があっても良かった
グループワークの後に説明があつたわかりやすかったです
ワークで実際に考えることで理解が深まった
実際にありえる内容だったため、良かったです
病棟でも活用できそうな内容で良かったです。
日頃、行っている考え方を整理でき、臨床推論のポイントを理解できた
グループワークで他の方の考え方も共有できて勉強になりました。
とても、勉強になりました。この研修を活かして患者さんに関わりたいです。
楽しく学べた良かったです。今後、今回学んだことを活かしていきます
レベルが高く、とてもいい勉強になりました。
先輩看護師と同じグループになりどのようにアセスメントしているのか間近で感じたいと思った。
症状から色々想像しなければいけないが、知識がなくて分からないことも多いため、知識が必要だと感じた。
ファシリテーターの介入も適切でした。ありがとうございました。
西尾さんの講義は分かりやすく、楽しかったです。
特定の方々の協力体制も見受けられました。みんなでやられていて、素晴らしいかったです。
自分の知識不足もありますが、いろんな考え方を共有できてよかったです。
事例を通して臨床推論の方法がわかった。症状に対していろいろな可能性を考える必要があると感じた。

★来年度も『臨床推論』の研修を継続していきたいと思っております！★

ナースセンターからのお知らせ

看護職のためのポータルサイト

ナップス
NuPS 2024年11月
OPEN!



研修の受講履歴は、令和7年4月以降キャリアナースからNuPSに移行します。
NuPSの登録には、看護師免許登録番号と登録年月日の入力が必要です。
同意の上登録することで、マナブルで受講した研修情報が、NuPSに引継ぎされます。

▶ NuPSとは

デジタル改革関連法に基づき、厚生労働省の医療従事者届出システムと連携し、看護職キャリア情報としてナースセンター・コンピュータ・システム (NCCS) に本人同意をもって共有された自身のキャリア情報をより便利に、管理・活用するためのサイトです。NursePortalSiteの略語で、ロゴの“uP”の部分は、uを小文字、Pを大文字で表現し、さらに上へ成長していくという思いを込めています

キャリア管理に役立つ3つの機能



キャリア情報の見える化！

医療従事者届出システムで登録された、職歴や取得した国家資格などの「看護職キャリア情報」を閲覧・出力できます。情報の閲覧はワンタイムパスワードで保護されているので安心してご利用いただけます。

※准看護師は2025年3月以降に一部の都道府県からご利用いただけます。

研修受講履歴のアウトプット！

受講した研修情報が一覧で表示されます。研修受講履歴証明書も出力できます。2025年4月よりサービス開始予定。日本看護協会と都道府県看護協会が主催する研修情報から順次対応予定です。

お問合せ・ご相談もスムーズ！

サイト上で居住地または勤務地のナースセンターへ就業やキャリア継続に関する相談ができます。

パソコンでも
まったく同じ体験を！



岐阜県ナースセンター 公式LINEアカウント開設しました

最新求人情報やイベント情報を配信中！
右のQRコードから友だち登録をお願いします





令和6年度は医療業務従事者届出の必要な年です

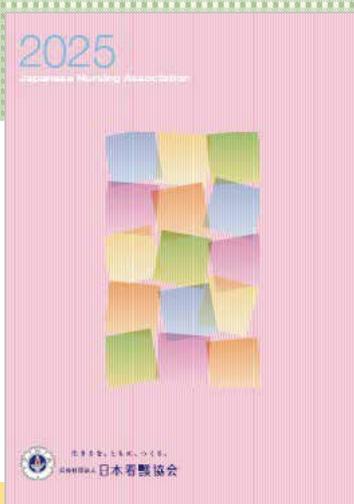
業務に従事する保健師、助産師、看護師、准看護師の方は、法により2年ごとの12月31日現在における氏名、住所等届出票に記載されている事項を届け出る義務があります。
忘れずに届出しましょう。

公益社団法人 日本看護協会 編

2024年11月発行予定

日本看護協会 会員手帳2025

定価 1,320 円(本体1,200 円+税) ISBN 978-4-8180-2782-4
A6 判/128 頁/ビニールカバー・しおり紐・4 年間カレンダー付き



★「資料集」大リニューアル!★

'25の表紙は
明るくやさしい
色あい!

会員の皆様の〈役に立つ〉 &
〈アイデンティティを育む〉情報を厳選し収載!

✓ 会員手帳ならではの協会情報が満載の資料集

- 日本看護協会の基本理念
- 日本看護協会について/入会案内/刊行物
- 日本看護協会会員徽章/タグライン/ロゴ/ステートメント/
「看護の日」キャラクター「かんごちゃん」
- 看護協会と看護連盟
- 看護の将来ビジョン
- 会員専用 WEB ページ「キャリアナース」
- 看護職賠償責任保険制度への任意加入
- 看護職のためのポータルサイト NuPS (ナップス) /
その他のナースセンター業務
- はたらくナースの相談窓口/メンタルヘルス相談/図書館サービス
- 奨学金 ・ 年齢早見表 ・ Year Plan (勤務表)

✓ 持ち運びに便利な文庫本サイズ

✓ 月の予定が一目でわかる月間ブロックタイプのカレンダー

- 前年 12 月から翌年 3 月まで掲載
- 月曜始まり
- 「今月のマイテーマ」を書き込んで、モチベーションアップ



株式会社 日本看護協会出版会

ご注文(コールセンター): TEL 0436-23-3271/FAX 0436-23-3272
お問合せ(営業部) : TEL 03-5319-8018/FAX 03-5319-7213

URL: <https://www.jnpsc.co.jp>

とっておきの癒し

「とっておきのいやし」

岐阜市立看護専門学校 高橋 美嘉

生き物が好きで、特に深海魚が大好きです!普段目にしている魚とは違う見た目だったり、未だ生態が明らかになっていなかったり…そんな生き物があるんだと思うだけでワクワクしてきます。

休みの日を使い、水族館に行って深海魚を見るのも楽しいですが、お土産に深海魚グッズを買ったり、どこの水族館にどんな深海魚がいるか調べるのも楽しいです。

買ってきた深海魚グッズは、日常使っています。仕事をしながら癒されています。



「私の癒し」

岐阜県看護協会立訪問看護ステーション下呂 田口 めぐみ

私はON、OFFの切り替えが下手で体調を崩すことがよくありました。

昔からの親友はどんな話でも聞いて前向きにしてくれます。そんな親友と一緒に食事に行くことは私にとっての癒しです。

また自宅から見える空は毎日違う色をしていて、キレイな時もこわい時もありますが、毎朝この空を見て「今日も頑張ろう」と思い仕事に向かいます。



病院紹介(表紙の説明)

聖十字病院

聖十字病院は、社会医療法人聖泉会が運営する土岐市(東濃圏域)にある精神科の急性期を中心とした200床の精神科病院です。山の中にあり不便な病院ですが、土岐市駅近くのサテライトクリニックが不便さを軽減してくれています。

法人は「こころの総合医療福祉の実現」をビジョンとし、病院だけではなく、地域の精神科医療・福祉に貢献するためにいろいろな事業を展開しています。



病院ロビー



院内での散歩

近年の精神科医療・福祉を取り巻く複雑な状況に対応するため、2020年10月から従来の職能別組織を事業部別組織へと変更しました。あわせて看護部を廃止し、病院は入院事業部門として意思決定をしています。事業部別組織によって多職種協働が促進され、働きやすく結果の出せる組織に変わりつつあります。事業部別組織の弱みである職能教育は、組織の人材開発として捉えることで解決し、看護職員への研修は、精神看護CNSを活用しながらOJT/off-JTを問わずに取り組んでいます。



スタッフステーション



協会の動き

◆看護協会会員数

<令和6年8月29日現在>

保健師	288名
助産師	419名
看護師	11,148名
准看護師	397名
合計	12,252名

編集後記

今回は、ふれあい看護体験に参加された高校生の皆さんの声を特集しました。体験を通して得られた気づきや感動が、看護の未来につながることを願っています。

これからも看護の魅力をお届けできるよう努めてまいりますので、次号もお楽しみに。
市川 初江

広報出版委員会 委員長 杉本 晴美
委員 小林 裕子 児玉 憲子 市川 初江 豊田 成司

おくやみ ご冥福をお祈りいたします

柏原 美沙 様 令和6年10月1日 逝去